



宮川大樹通信

みらい上越ネットワーク 発行：宮川大樹事務所 市政活動報告

vol.10

令和3年冬・4年新春号

コロナ収束へ全力で！新たな生活様式の確立を目指す

皆様のおかげさまにより市議会議員として6年目となり、この市政活動報告「宮川大樹通信」も節目の第10号をむかえ、活動できることを厚く感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の発生から2年余りが経過し社会のありようが大きく変わってまいりました。マスク着用があたり前となり、経済活動も大きな被害を受けました。特に飲食業やホテル旅館業に関連する職種への打撃は甚大であり「売上が通常の半分以下に落ち込んでいる」などの悲痛な状況が多く見受けられました。この間、国をあげて持続化給付金等の対策がとられましたが十分ではなく、上越市としても独自に4回に渡る事業者経営支援金をはじめ、家賃補助や税金の軽減、プレミアム商品券の発行、リフォーム補助金の継続など出来る最大限の対策を講じて参りました。また、R3年春より開始したワクチン接種が全国より早いペースで進められ2回目接種も上越市では9割を超える3回目の接種も12月から開始されております。1日も早いコロナ収束に向けて今後もコロナ対策や冬の豪雪対策など、市民の生命と財産を守ることを第一とし、議員活動に邁進して参ります。変わらぬご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

上越市議会議員 宮川 大樹



会派みらいでサテライトオフィスであるテ拉斯カイを視察。コロナ禍で進んだリモートワークやサテライトなどの新たな生活様式に対応した市政改革に取り組んでまいります。

市政にもの申す！市議会一般質問・委員会質疑

令和3年
6月

廃棄物最終処分場の場所選定について

- Q. 県が事業主体で上越市に建設予定の広域最終処分場の4次選定が先般発表され、茶屋ヶ原1か所、柿崎区竹鼻・下中山付近の3か所、同区下小野1か所の計5か所の候補地が示された。県は、この中から最終的な候補地を決めたいとしているが、市はどのように関わっていくのか。
A. 県では、令和3年4月から候補地や周辺の町内会及び町内会長連絡協議会、地域協議会への説明会を開催しており、市としては、引き続き、より多くの方々からご理解をいただけるよう、県と議論を重ねながら、取組を支援していきたい。



柿崎区の皆様とエコパーク出雲崎最終処分場を視察。

宮川大樹のここがポイント point
6月の一般質問では市の政策決定におけるやり方について質問しました。今までに名立の指定管理者選定方法も、うみてらす名立の指定管理者選定方法でも問題になっていますが、市は政策を上から目線ではなく、地域と行政と一緒に相談しながら一人でも多くの市民の想いに汲み取る協働のまちづくりの姿勢が大切であることを提言しました。

保倉川放水路の進捗状況について

- Q. 保倉川放水路について、関川流域委員会で令和3年3月に頸城区下三分の一から夷浜を通る西側ルートが決定した。保倉川放水路の進捗について聞きたい。
A. 保倉川流域の治水安全度の向上は、喫緊の課題として、地域の皆様と丁寧な話し合いを重ねながら、国に対して一刻も早い事業化を強く働きかけるとともに、国・県と連携しながら放水路整備に伴う「まちづくり」に取り組む。

四・九の市における集約について

- Q. 四・九の市における出店場所の集約の経緯はどうか。
A. 出店者数の減少を受け、市場の活性化と来場者の利便性向上を図るために、上越朝市組合と共に関係する町内会や出店者の方々と市の三者で協議し決定した。

成人式やお祭りなどの行事について

- 令和2・3年はコロナ禍ということで当初の予定通りとは言えない難しい舵取りだったと思います。特に成人式や、入学式や卒業式をはじめとする学校行事、そして地域の活力のバロメーターであるお祭りが中止や延期になったことは残念に思いますが、ぜひとも当事者の想いに寄り添って、成人式など中長期的に延期された行事については担当課は責任を持って遂行して行って欲しいですし、中止にいたったお祭りなどの行事はコロナ後、やめるような事がないように、しっかりと地域に寄り添ってサポートしていってほしいと期待しております。

通年観光の優先順位について

- Q. 市長公約では『雁木町屋と寺町』『直江津振興』『春日山城と上杉謙信公』の3つを中心として通年観光を進めるとあるが、高田城復元による高田城址公園振興や13区の通年観光はどの様に考えるか。
A. 財政が限られる中、まずは3つの中心を優先にしたい。

新市長提案に対し活発に論戦！

- 総務常任委員会が開催され副市長4人制と政策諮問委員設置について審議しましたが賛成0反対7の全会一致で否決しました。市民が選んだ市長の政策でしたので納得すれば賛成したかったですが、中身が煮詰まってなく残念でした。副市長4人制については公約では部局のスリム化もやるとしておりましたが、スリム化なしで2千万円以上の市民の税金からの財政負担増で反対しました。諮問委員についても公約ではしがらみのない市政にしたいとしていたにも関わらず、公明正大な公募ではなく、馴れ合いや癒着が生じやすい市長の直接任命でしたので反対しました。同じく市民に選ばれた議会が納得出来るようにしっかりと煮詰めてから議案を提出すべきと考えます。後日、行政からは時間をかけて改めて提案し直すと修正がありました。今回を契機に行政と議会が緊張感を持ちつつ市政発展へ共に協力していかなければと思います。



副市長4人制を賛す

コロナ対策に関する経済支援策

第3次・第4次事業者経営支援金 問 025-520-5729(上越市)

コロナによって経済活動が落ち込み厳しい状況に置かれた企業等に対して上越市は国に先駆けて先行議決をして、いち早く経済活動を打ち出しておりますのでご活用ください。

令和3年9月17日受付開始

上越市
第3次事業者経営支援金の受付を開始します。
※第1次、第2次給付を受けた方も対象です
※「連続減少」の要件を廃止しました

新型コロナウイルス感染による感染者の再度増加（第5波）の影響により、本年7月から11月までの間に一定以上売上げが減少した事業者を対象に、最大100万円を給付する「第3次事業者経営支援金」の受付を開始します。

制度概要

【1】受付要件
①既に既存して事業・営業を行っている市内に事業所を有する中小企業、個人事業主、公益法人等で支援金給付後も事業を継続する意思がある者等

【2】給付対象となる売上減少の期間
令和3年7月～11月

【3】給付額（上限）

区分	コロナ前の月平均売上（円）	500万円以下	500万円超	1,000万円超
25%～50%減少が2ヶ月	100	125	250	
20%～50%減少が3ヶ月	200	250	500	
50%以上減少が2ヶ月	300	500	1,000	
50%以上減少が3ヶ月				

【4】減免額・変動点
③3か月から、「連続で一定の売上減少」の要件を廃止しました。
④減免月数の要件を満たした時点で、申請が可能です。

【5】申請期間
令和4年1月31日（月）消印有効

制度の詳細、お問合せ
申請書類・詳細等は市役所をご確認ください。
トランページ→新コロナウイルス感染対策連携支援>生活支援・経済対策>経済対策>第3次事業者経営支援金
お問い合わせ先：上越市 産業観光交流部 産業政策課 産業振興係
産業振興係直通：025-520-5729

<第4次事業者経営支援金>				
	コロナ前の（令和12、H3.1～4）の月平均売上	500万円以下	500万円超	1,000万円超
3か月で20%以上減少				
R3.12～R4.4の各月の売上高とR.元.12、H3.1.～4の各月の売上高をそれぞれ同月で比較	2か月で25%以上減少	100	125	250
	期間全体の平均で20%以上減少			
	2か月で50%以上減少	200	250	500
	期間全体の平均で40%以上減少			
3か月で50%以上減少	3ヶ月で50%以上減少	300	500	1,000

18歳以下の10万円相当の給付（国）

18歳以下の子どもがいる世帯に対して子ども一人あたり現金5万円、その後にクーポンなどで5万円を支給する。(所得制限960万円以下)

住民税非課税世帯への10万円給付（国）

住民税非課税世帯に対して現金10万円を支給する。(詳細は今後の発表をお待ちください)

宮川大樹事務所 TEL.090-5432-2072
FAX.025-530-7713 Facebook
miyagawa.daiki@ruby.plala.or.jp

〒943-0833 新潟県上越市大町5丁目1-19 (秋山商店様隣り)

やっています。

miyagawa.daiki@ruby.plala.or.jp

※お問合せはTEL又はメールでお気軽にお連絡ください。

宮川大樹プロフィール



昭和51年 柿崎町下小野
(現上越市柿崎区)に生まれる。
下黒川小学校、柿崎中学校、
柏崎常盤高等学校を卒業
中央大学法学院2部政治学科卒業
元国会議員秘書
平成28年 上越市議会議員初当選
令和2年 上越市議会議員2期目当選
ニックネーム 大ちゃん

【主な役職】
上越市議会防災士議連事務局長
新潟県消費生活センター（オレオレ詐欺防止）
高田城復元ネットワーク前委員長
全国若手市議会議員会 北信越ブロック元代表
上越市議会議員会改革実行チーフリーダー
【趣味】詩吟（三段）
【家族】妻（春日新田出身）

写真で見る

宮川大樹 令和3年春～冬の活動報告



R3.4.24 重病児デイサービス「ソラ」開所式

小 呼吸器装着者が利用できるデイサービスで上越市初の取組です。障がいがあるなしではなく一緒に笑顔で暮らせる本当の意味の共生を応援します。



R3.7.15 中学生模擬議会

中 学生模擬議会を清里中学校1年生26名から議場にお越しいただきました。生徒からの質問は、「マスクをして体育で倒れる人がいるから危ないのでは」や、「学校のiPadを持ち帰って家で勉強したい」等、中学生ならではの鋭い質問に回答者の議員もたじろぎながら有意義な会となりました。



R3.10.3 避難訓練

大 町3丁目の避難訓練に参加しました。検温、消毒を徹底しました。コロナ禍でも災害は襲ってきます。地震、水害は多発していますので訓練で自助、共助を確認して備えあれば憂なくやっていきたいです。



R3.4.29 旧今井染物屋リニューアル

旧 今井染物屋は江戸時代末期大町5丁目に建てられた、市内最古の町屋です。リニューアルで雪国高田の風土産業であるバテンレースを基軸とした常設工房隣、地域文化の継承と発信の拠点として期待されています。



R3.8.2・6 吉川区・昭和町市政報告

高 鳥修一代議士からも参加していただき開催。豪雪対策やコロナワクチン接種に关心が集中しましたが、国県市が連携をした対応する事が大切である事を説明させて頂きました。



R3.10.22 上越の未来と頃北の明日を考える

柿 崎体育館において楢井辰雄県議主催の会で司会を務めました。柿崎区は豪雪対策・農業支援・柿崎病院・高校再編・最終処理場と課題が山積みですが連携しながらより良い方向へ解決するように努力してまいります。



R3.5.11・16・26 東城町1・2・大学前市政報告

東 城町1丁目2丁目と大学前町内会において桜庭節子県議と合同で報告会を開催。豪雪対策やコロナ対策について要望を頂きました。地域に信頼される議員となるようしっかりと対応して参ります。



R3.8.12 不動生産森林組合

名 立区の不動生産森林組合様の役員会に高島修一代議士と共に伺いました。国土保全に加え輸入材が高騰している今こそ国産材を活かす手立てを国をあげて取り組む事が話しあわれました。



R3.7.2 地域に寄り添う議員を目指して

梅 雨に入り今年もゲリラ豪雨に備えて大町3丁目では用水や流雪溝の溢れるポイントをチェックして改修などの対策で浸水被害が生じないよう行政と市民の連携を密にとってまいります。



R3.8.12 議会モニター



R3.11.19 オレオレ詐欺に気をつけよう

オ オレオレ詐欺被害が上越市で増えているため、上越警察署と合同で予防啓発講座を行いました。この1年で新潟県で約3億円の被害が出てますので皆様もお気をつけてください。